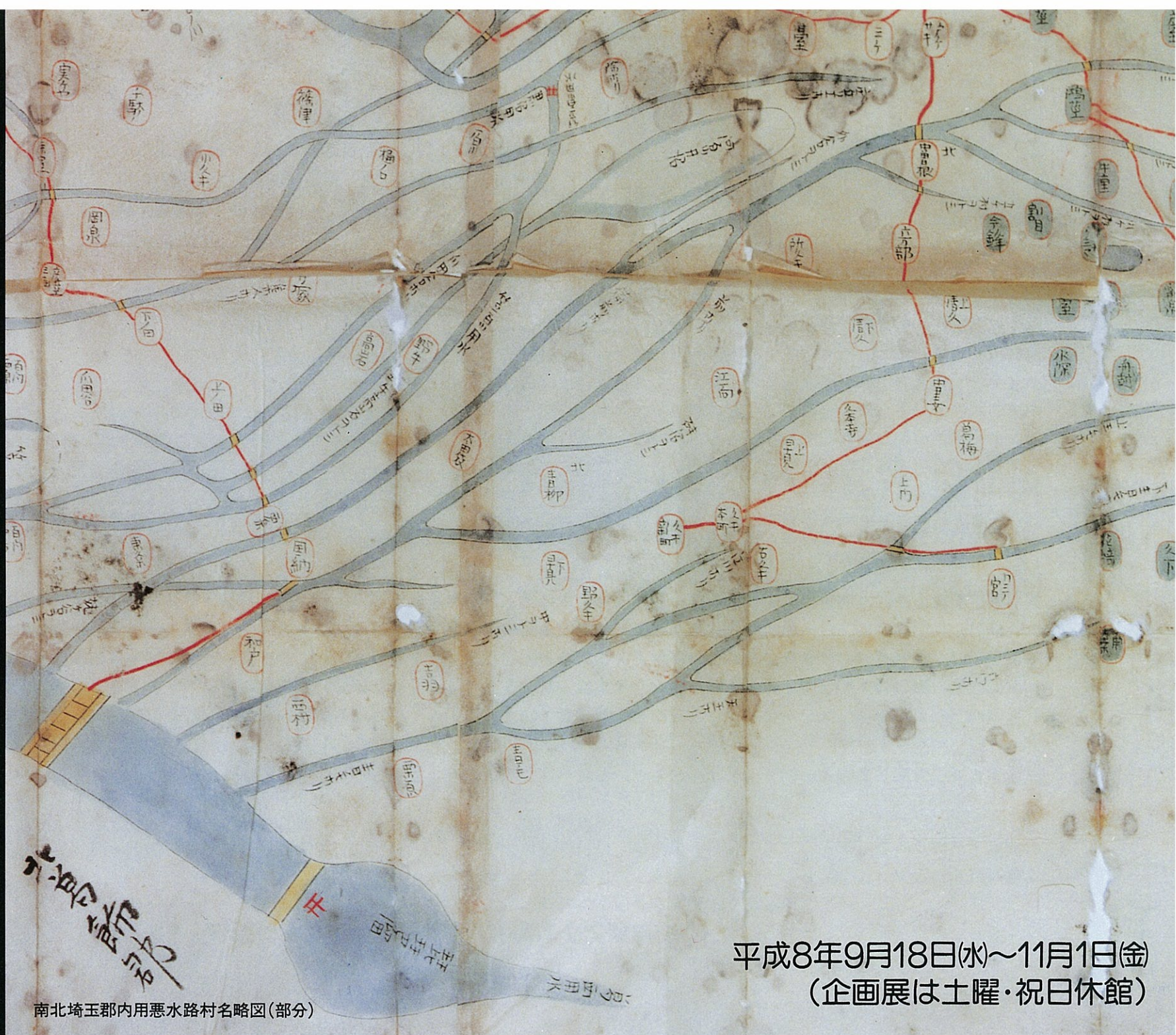


第5回企画展

# 絵図にみる久喜の歴史



南北埼玉郡内用悪水路村名略図(部分)

平成8年9月18日(水)~11月1日(金)  
(企画展は土曜・祝日休館)

久喜市公文書館

## 「絵図にみる久喜の歴史」を開催するにあたって

当館は、平成5年10月に開館して以来、「歴史資料として重要な市の公文書その他の記録」を保存し、これらを計画的に整理・公開していくことを主な業務としております。

この公開は、実際に利用者の皆様が手にとって閲覧していただくことを原則としていますが、その一方で年2回の企画展も催しております。

5回目を迎える今回は、「絵図にみる久喜の歴史」を開催することにいたしました。

絵図資料は、最初からまとめて存在しているわけではないため、年度別・家別の基本的な整理をした公文書・古文書から、さらに絵図だけを抽出するという作業が必要になってきます。そのため、利用者にとりましても労苦を要するものでした。また、国絵図・村絵図・地籍図等、一部の絵図については研究が進められてきていますが、全体的にみると、まだ絵図研究ははじまったばかりといってもいいでしょう。特に地方の絵図については、地方史研究者にしかできない深到な研究が期待されるところです。

今回の展示では、現在当館で把握している資料の中から主な絵図12点を抽出し陳列するとともに、絵図資料の活用事例として、久喜藩の都市計画の一端を検討してみました。

久喜藩の実態については、わかっていないことが多いのですが、今回の展示をご覧いただいた皆様の中から、未だ明らかとなっていない様々な分野への研究がさらに進められていくことを期待しております。

最後になりますが、今回の展示を行うにあたりましてご協力をいただきました多くの関係者の方々に、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

平成8年9月

久喜市公文書館長

### 協力者（敬称略・順不同）

相澤勝寿、木村達郎、斎藤一豊、常德院、武井友幸、土屋與之、中太庄、茂木啓明

久喜市立本町小学校、埼玉県立博物館、埼玉県立文書館

# 絵図にみる久喜の歴史

絵図は、時代・区域・目的等により様々な種類のものが作成され、その分類はかなり複雑です。

今回の展示では、主に久喜市を区域として描いたものを、最も一般的な内容分類によって時代別に配列しました。

## I 近世の絵図

今回取り上げたのは、人や土地をその領主によって区別した「村絵図」、新田開発の持分を描いた「新田絵図」、悪水処理をめぐる紛争の結果を描いた「裁許絵図」の3点です。

この他、代表的な近世の絵図としては、「用水絵図」、「神社絵図」、そして9の資料のような「寺院絵図」等があげられます。

## II 近代の絵図

主に近代初頭に描かれたものを中心に抽出しました。

今回取り上げたのは、神社を目印にして村を描いた「村絵図」、屋敷に番号をつけて村を描いた「屋敷番号絵図」、2町2村の入会を示した「入会絵図」、郡内を流れる用悪水の流路と各町村の位置を描いた「用水絵図」、地租改正によって作成された「旧公図」の5点です。

このうち、近代の最も代表的な絵図は「旧公図」でしょう。

近世村絵図と近代地図編製様式が組み合わされた「旧公図」を境にして、絵図から新しい近代的な地図へと、その様式が変化していきます。

## III 旧公図に刻まれたまちの歴史

明治9年(1876)に作成された久喜本町・久喜新町・野久喜村・古久喜村の2町2村を描いた旧公図には、江戸時代の久喜のまちの特徴が残っています。

江戸時代の久喜の地には、貞享元年(1684)に米津政武が陣屋を構え、寛政10年(1798)に米津通政が出羽国村山郡長瀬(現在の山形県東根市)に移封されるまでの115年余り久喜藩が存在していました。

旧公図からまちの特徴をみると、①陣屋跡の存在、②寺院の集中、③家並の存在等をあげることができます。詳細については今後の研究を待たなければなりません。陣屋を城郭と武家屋敷に、寺院を寺町に、陣屋近辺の家並を町方にそれぞれ見立てると、城下町の基礎的な構成要素をひと通りそなえて都市計画されていたと考えられます。

### 1 陣屋跡

9の資料に書かれている「小太夫」とは、当時の久喜藩主米津政矩のことです。陣屋が置かれていた場所は、現在の中央公民館のあたりですが、その建物の構造はよくわかりません。10の資料がその図面ではないかという指摘もあるのですが、詳細は不明です。

### 2 寺院跡

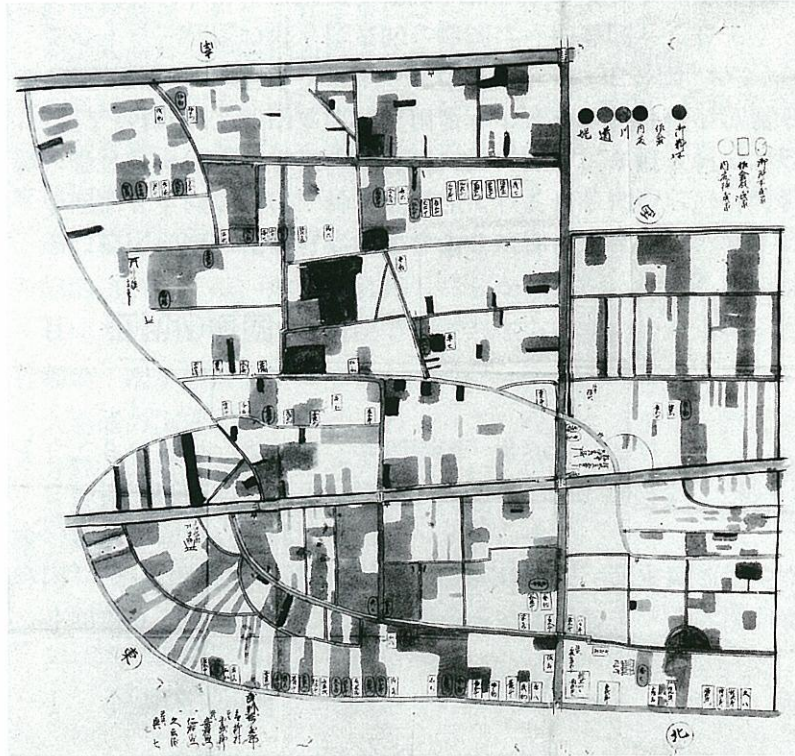
旧公図には、甘棠院、光明寺、天王院等現存する寺院の他に、金剛院、養真寺等のような廃寺や、移転した明王院等についても朱色で描かれています。

### 3 町場跡

12の資料には、その家並が描かれています。東西にのびる道路の両側につらなる家並が久喜本町、その家並に直交する南北にのびる道路の両側につらなる家並が久喜新町です。

# I 近世の絵図

## 村 絵 図



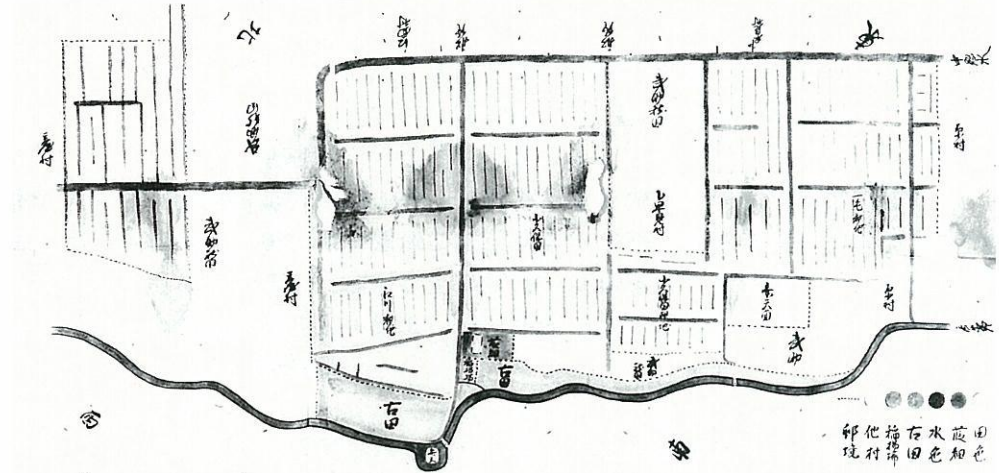
1 青柳村知行別絵図

縦78.6×横81.7 (cm)

武井友幸氏所蔵

(久喜市公文書館寄託、武井友幸家古文書No.221)

## 新 田 絵 図

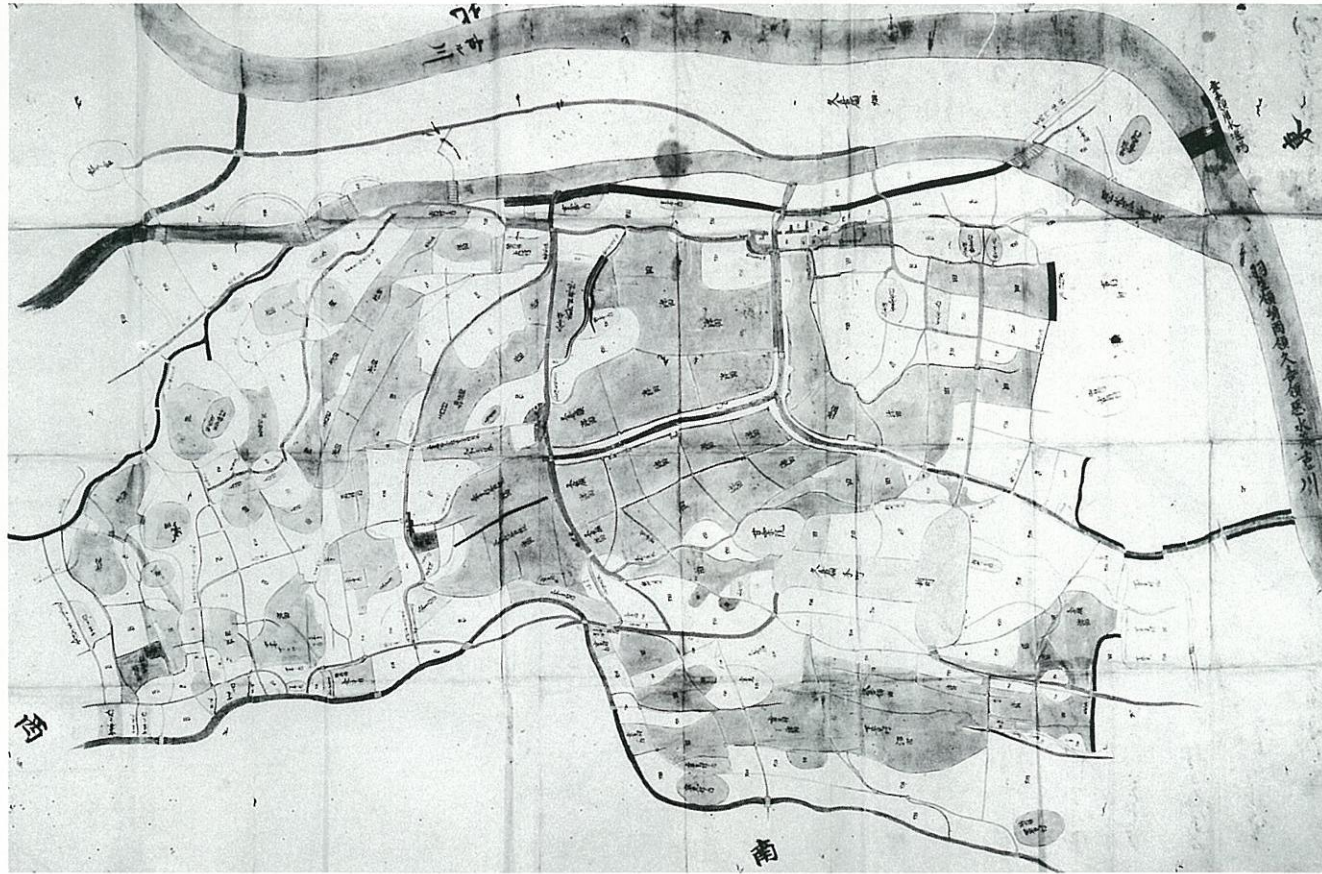


2 河原井沼新田絵図 (除堀分)

縦33.5×横86.5 (cm)

茂木啓明氏所蔵

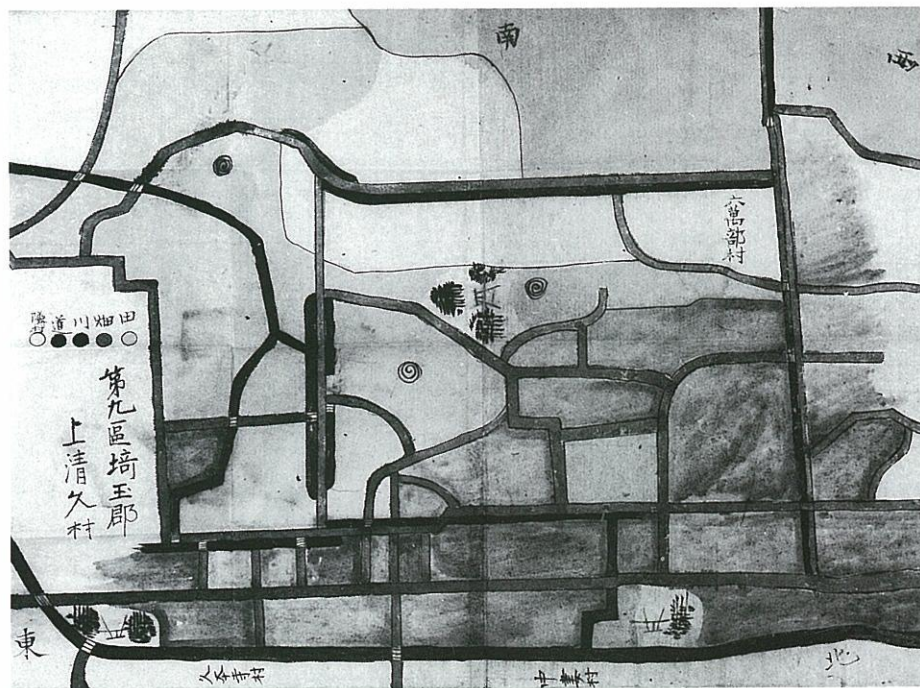
裁許絵図



3 騎西領・久喜領悪水堀争論裁許絵図  
元禄6年(1693)5月14日  
縦118.2×横183.0 (cm)  
斎藤一豊氏所蔵

## II 近代の絵図

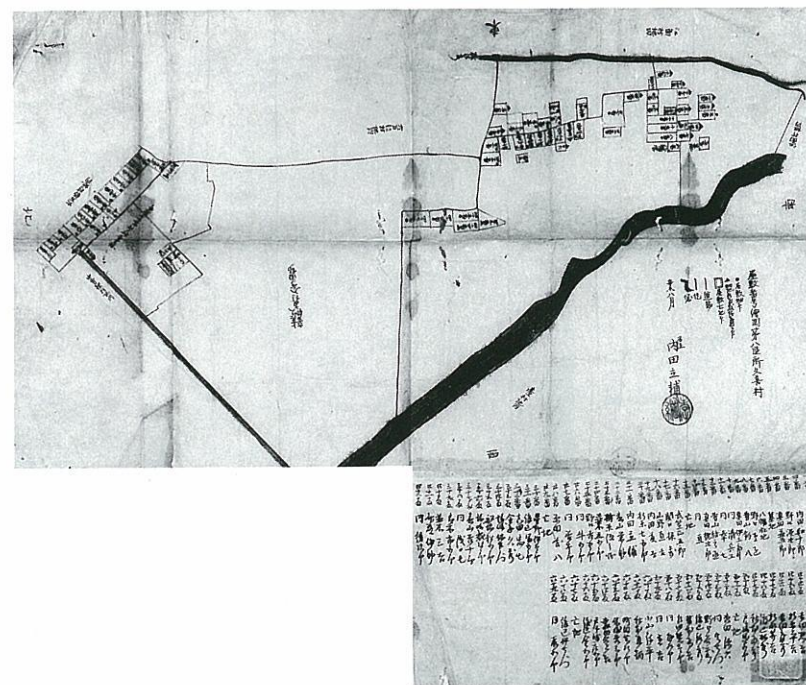
### 村 絵 図



4 絵図（第九区埼玉郡上清久村）

縦37.3×横53.3 (cm)  
常德院所蔵

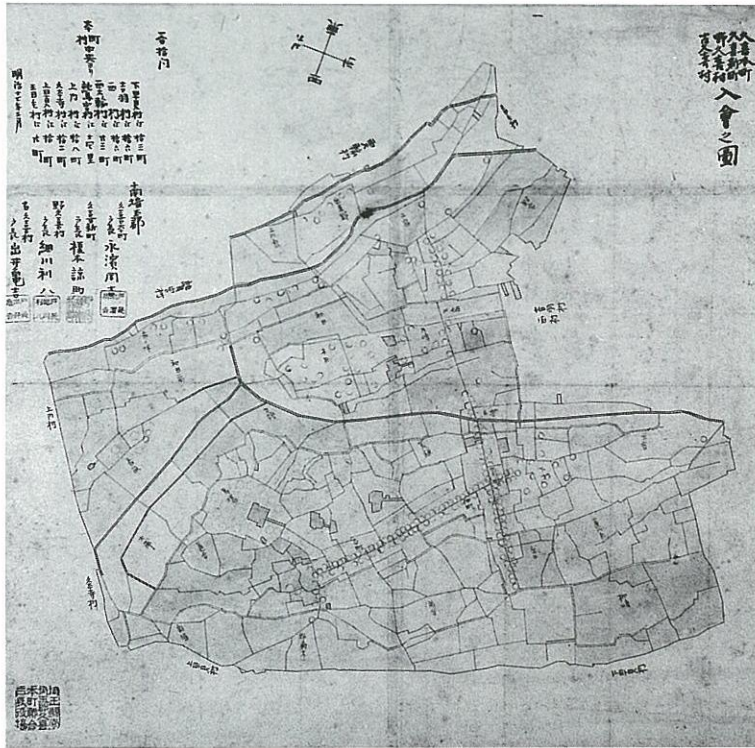
### 屋敷番号絵図



5 所久喜村屋敷番号絵図

明治4年(1871)8月  
縦35.5×横42.6 (cm)  
相澤勝寿氏所蔵  
(埼玉県立文書館寄託、相沢家文書 No.2027)

## 入会絵図



- 6 久喜本町・久喜新町・野久喜村・古久喜村入会の図  
明治17年(1884)3月  
縦51.3×横51.6(cm)  
久喜市立本町小学校所蔵

## 用水絵図

- 表紙写真 7 南北埼玉郡内用悪水路村名略図  
明治16年(1883)7月15日  
縦54.0×横115.4(cm)  
中太庄氏所蔵

## 旧公図

旧公図は、「地籍図」「地引絵図」「字切図」「字限図」「一筆図」「公図」「字図」「地押図」「分間図」等、様々な名称で呼ばれています。

本市の場合、建設課が所有しており、「旧公図」の名称がつけられているため、そのまま「旧公図」と呼ぶことにしました。

旧公図は、作成時期のうえから2つに大別できます。1つは、明治の地租改正に伴って作成されたものおよびこの系譜に連なるもので、もう1つは、昭和26年施行の国土調査法に基づいて実施された地籍調査によって作成されたものです。

本市建設課には、全部で202点の旧公図がありますが、そのほとんどは戦後に作成されたものです。作成年の明らかなもののうち、最も古いものは明治7年のもので、除堀村の1点です。次に明治9年のものが古く、栗原村・江面村・除堀村・原村・青柳村及び次頁の資料の6点があります。

また、旧公図と同じ種類のものは、法務局や個人の所蔵になるものもかなりあり、活用する場合、それぞれの作成時期・区域・作成目的等を考察した上で用いる必要があります。

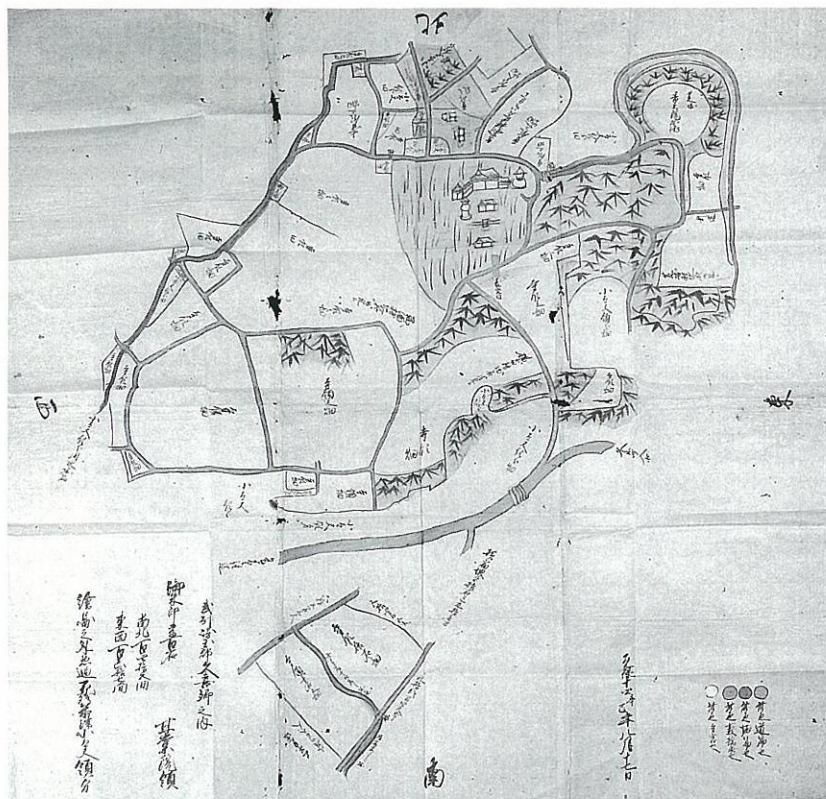


8 久喜新・久喜本・野久喜・古久喜全図【パネル】  
 明治9年(1876)12月  
 縦4,650×横4,690 (cm)  
 久喜市建設課所蔵



### III 旧公図に刻まれたまちの歴史

#### 1 陣屋跡

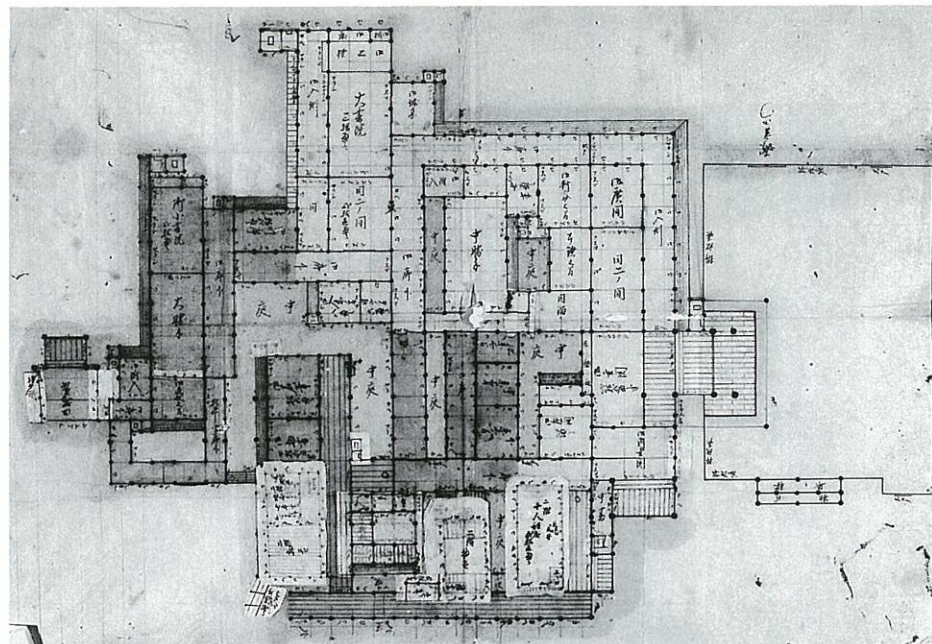


9 甘棠院寺領絵図【パネル】

元禄14年(1701)8月17日

縦80.1×横80.4 (cm)

埼玉県立博物館所蔵

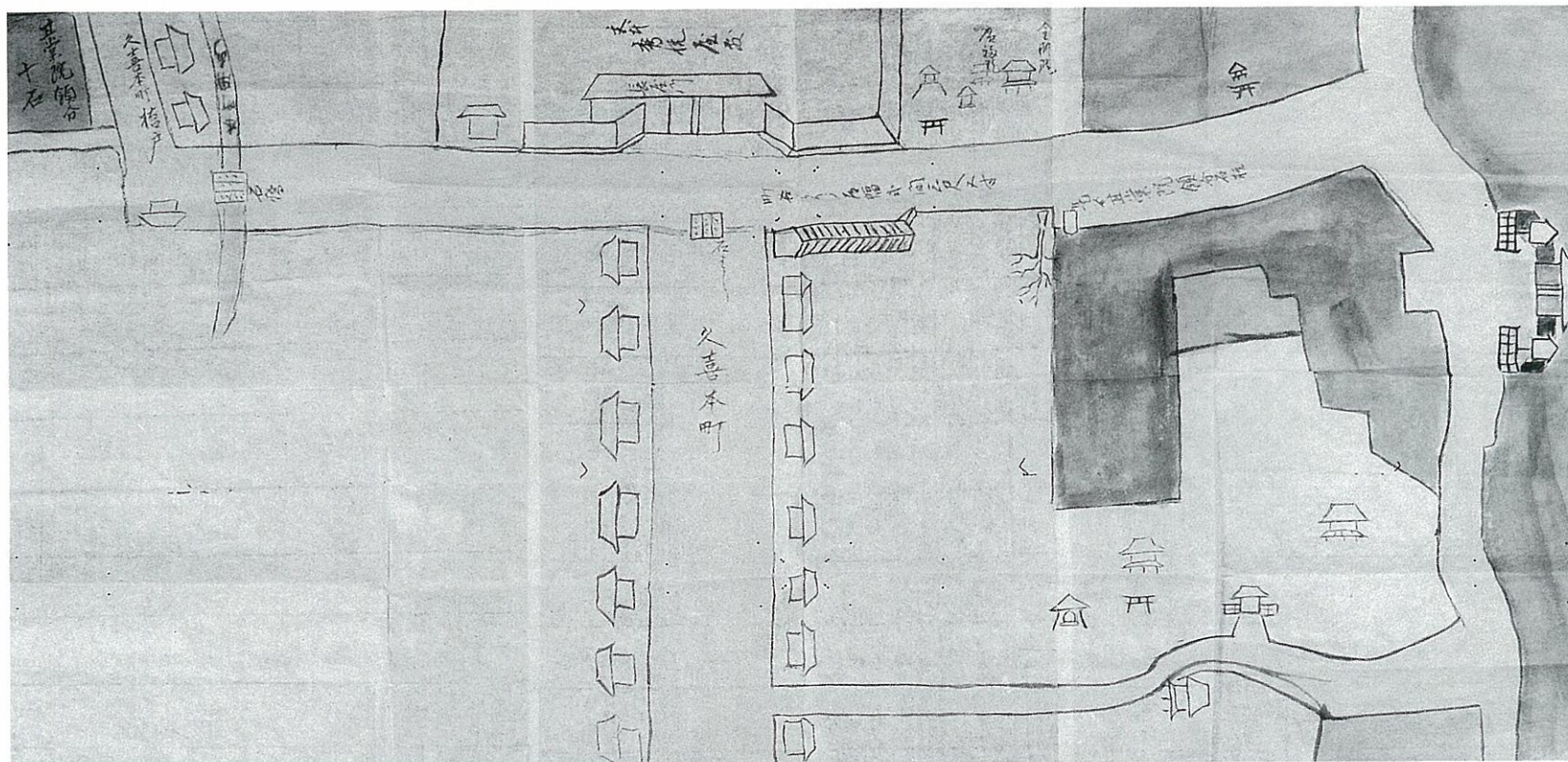


10 絵図(大書院等屋敷見取図)

縦38.0×横53.0 (cm)

土屋與之氏所蔵

## 2 寺院跡

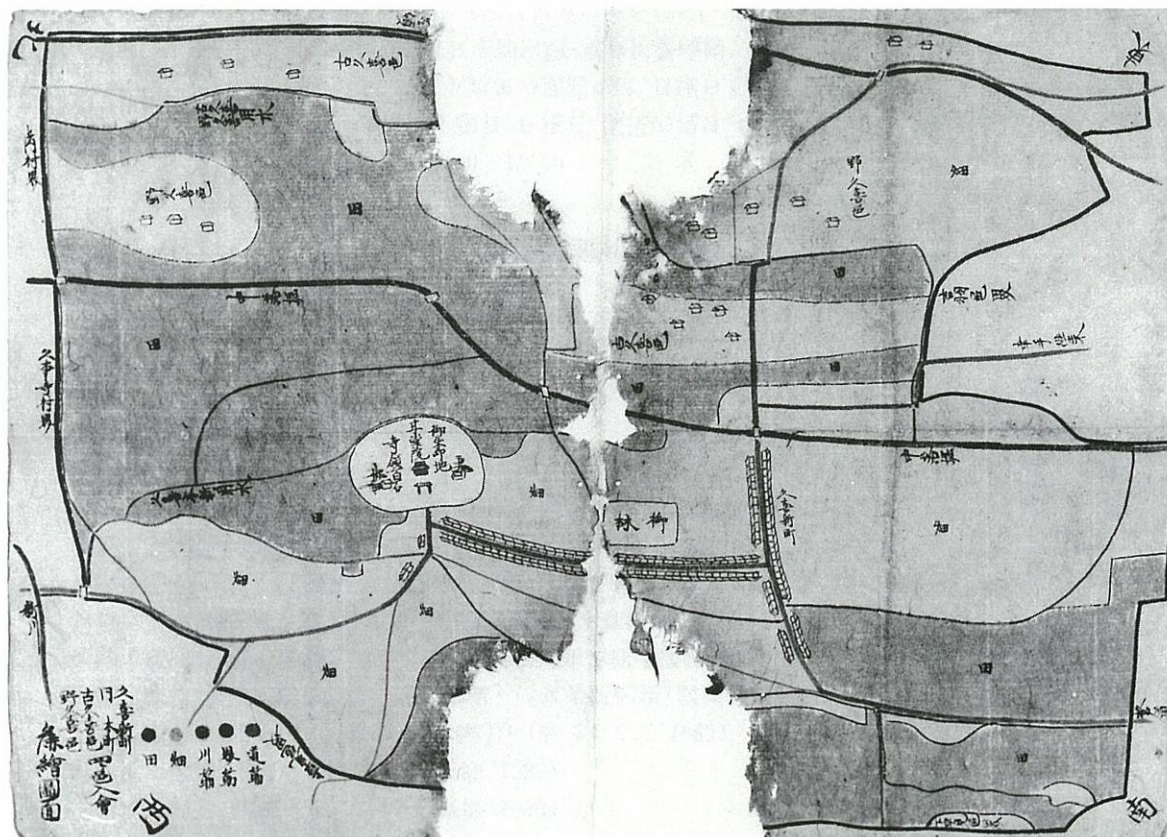


11 甘棠院門前絵図【パネル】

縦39.5×横81.8 (cm)

埼玉県立博物館所蔵

### 3 町 場 跡



12 久喜新町・久喜本町・古久喜邑・野久喜邑四ヶ村入会鹿絵図面

縦27.8×横38.7(cm)

木村達郎氏所蔵

## 主な参考文献

- 中島義一「一万石大名の城下町」(『新地理』第10巻2号、第13巻1号、第13巻3号、1962-1965)  
中林 保「近世鳥取藩の陣屋町」(『人文地理』26-4、1974)  
桑原公德『地籍図』(㈱学生社、1976)  
『特集地籍図 地理』1980.4(古今書院、1980)  
『特集地籍図 地理』1983.7(古今書院、1983)  
木村 礎『村の語る日本の歴史 近世編①』(㈱そしえて、1983)  
泊善三郎「埼玉県における地籍図の作成」(『文書館紀要』創刊号、1985)  
矢野司郎「陣屋町の形態と構造について-近江高島郡大溝陣屋の場合-」(『歴史地理学紀要』31、1989)  
杉森哲也「町組と町」(高橋康夫・吉田伸之編『日本都市史入門II 町』、東京大学出版会、1990)  
吉田伸之「北生実」(高橋康夫・吉田伸之編『日本都市史入門II 町』、東京大学出版会、1990)  
内山純子「龍ヶ崎と仙台藩」(『龍ヶ崎市史研究』第9号、1996)  
山下和正・清水靖夫「古地図入門」(『歴史読本』1996年9月号、1996)

### 公文書館利用案内

開館時間：9:00～17:00

休館日：土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始  
(企画展の期間中は、日曜日も開館します。)

交通案内：JR宇都宮線・東武伊勢崎線  
久喜駅西口下車徒歩17分(市役所西側)